四季折々の豊かな情景が日常に…

夢ひらく 花ひらく とよひらく

豊平区ガイドマップ

豊平区について

豊平区は、札幌市の南東部に位置し、北は東北通で白石区、西は豊平川を隔てて中央区、南西部は南区、東は清田区と接しています。

豊平地区は、明治時代からの歴史を感じさせる寺社と再開発事業による近代的なビルなどが立ち並び、新旧の味わいを見せています。平岸・南平岸・中の島・月寒地区は古くから商業地域として発展し、活気あふれる街並みが続きます。かつて、牧場や田畑、果樹園が広がり、豊平の産業を支えてきた西岡・福住・美園・東月寒地区は落ち着いた住宅街となっています。

豊平区の魅力の一つは、南部の緑豊かな丘陵地と山林、望月寒川・月寒川など、豊かな自然に恵まれていることです。また、北海道コンサドーレ札幌のホームグラウンドである「札幌ドーム」、市内を代表する観光名所の一つである「さっぽろ羊ケ丘展望台」などの施設があり、大勢の観客や観光客が訪れています。

豊平区では、安政4(1857)年ころ、札幌越新道の往来のため、豊平川の東岸に渡し守として志村鉄一が定住。明治4年に現在の岩手県などから多くの人が平岸・月寒・福住に移住し、同41年に町制が施行され豊平町となりました。

そのころは農業や牧畜が盛んで、リンゴは明治時代から平岸を中心に栽培され、「平岸リンゴ」は昭和初期には海外に輸出されるほどになりました。

また、明治6年に開通した現在の国道36号に沿って商店や工場が立ち並び、交通の要衝と呼ぶにふさわしいにぎわいを見せました。

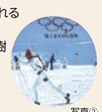
昭和36年に札幌市と合併し、同47年には札幌市が政令指定都市となり、区制の施行によって豊平区が誕生しました(旧豊平町の地域は豊平区と南区になりました)。その後、著しい人口増加に伴い、平成9年に南東部が清田区として分区しました。

かつてのリンゴ園は都市化とともに消えていきましたが、今でも環状通のリンゴ並木にその面影を残しています。

面積:46.23㎢
人口:226,006人
世帯数:121,465世帯
(令和5年1月1日現在)

西暦	年号	出来事
1857	安政 4	札幌越新道の開削が行われる
		このころ、豊平川河畔に通行屋が整備され、志村鉄一が定住
1871	明治 4	岩手県人が月寒・平岸・福住に移住
1872	明治 5	月寒村・平岸村開村
1873	明治 6	札幌本道(室蘭街道、現国道36号)が開通
1874	明治 7	豊平村開村
1875	明治 8	初代の本格的な豊平橋完成
1896	明治29	月寒に陸軍野戦独立大隊(後の歩兵第25連隊)設置
1902	明治35	豊平・月寒・平岸の3村が合併し、豊平村誕生
1906	明治39	現在の羊ケ丘に農商務省月寒種牛牧場(現在の北海道農業研究センター)開設
1908	明治41	町制施行により豊平町と改称
1910	明治43	大字豊平村の一部が札幌区に編入され、豊平町役場が豊平から月寒に移転
1911	明治44	平岸連絡線(アンパン道路)が完成
1918	大正 7	定山渓鉄道開通(昭和44年に廃止)
1920	大正 9	第1回国勢調査実施。2,190戸、11,430人
1924	大正13	永久橋としての豊平橋が完成し、路面電車運行
		このころ、月寒・豊平間でバス営業開始
1927	昭和 2	初代幌平橋完成
1953	昭和28	国道36号の完全舗装完成(通称「弾丸道路」)
1961	昭和36	豊平町が札幌市と合併
1971	昭和46	市電豊平線廃止
		地下鉄南北線(真駒内・北24条間)開通
1972	昭和47	札幌オリンピック冬季大会が開催され、月寒体育館では
		アイスホッケーが、西岡では距離競技とバイアスロンが行われる
		政令指定都市への移行に伴い、月寒に豊平区役所開設
1974	昭和49	豊平区役所が平岸の現在地に移転。環状通にリンゴ並木植樹
1976	昭和51	第1回リンゴまつり開催(平成11年まで開催)
1983	昭和58	第1回リンゴマラソン大会開催(平成9年まで開催)
1994	平成 6	地下鉄東豊線、福住まで延長
1997	平成 9	清田区が豊平区から分区
2001	平成13	羊ケ丘に札幌ドームが完成。「北海道コンサドーレ札幌」のホームスタジアムに
2004	平成16	「北海道日本ハムファイターズ」誕生。本拠地球場は札幌ドーム
2007	平成19	FISノルディックスキー世界選手権札幌大会が開催され、
		札幌ドームでは開会式とクロスカントリーなどが行われる
2012	平成24	通年型カーリング場「どうぎんカーリングスタジアム」が完成
2017	平成29	「2017冬季アジア札幌大会」が開催され、豊平区内では、アイスホッケー、
		バイアスロン、カーリングの3競技が行われる
2018	平成30	平岸庭球場がオープン

写真①


写真②

写真①:廃線間近の市電豊平線(1971年9月)。 写真②:西岡距離競技場で行われた札幌オリンピックバイアスロン競技(1972年2月)。

豊平区キャラクター

まちの魅力を発見する探偵です!

このキャラクターは、平成15年度に区内の小学生からイメージを募集し、区役所近隣の小学生(東山小・美園小・南月寒小)を子ども委員とする「豊平区イメージキャラクター製作委員会」でイメージを練り、札幌市立高等専門学校生(当時)がデザインしたものです。

区のイメージにぴったりなリンゴと羊がモチーフ(題材)になっています。

愛称は「こりん」と「めーたん」。区民公募による応募の中から愛称選考委員会の審査によって平成16年4月7日に決定しました。

豊平区のシンボルマーク

このマークは、全体で豊平区の「と」と区のシンボルである「リンゴ」を表しています。内側の「と」は青い線で豊平川と青い空を、外側の「と」と左上部の葉は緑色で豊平区の豊かな自然美を表現したものです。

豊平区の花 ペチュニア"Petunia"

ナス科ペチュニア属／一年草
別名／ツクバネアサガオ
花ことば／あなたと一緒なら 自然と心がやわらいでくる

花壇や鉢植えで誰にでも育てられ、開花期が長く、花の色も豊富で街角を美しく飾ることができます。花ことばも、はなとふれあいの街をめざす「とよひらHANA-LAND」の趣旨に合うことから、豊平区の花に制定されました。

平成4年8月29日制定

札幌市豊平区役所

〒062-8612
札幌市豊平区平岸6条10丁目
TEL 011-822-2400
FAX 011-813-3603
H P https://www.city.sapporo.jp/toyohira/

さっぽろ市 03-Q01-23-98 RS-3-6

令和5(2023)年4月改訂

豊平区の見どころ案内

(詳詳細 HPホームページアドレス 交交通機関)

志村鉄一ゆかりの地 豊平4条1丁目

志村鉄一は、安政4(1857)年ごろ、幕府の命令により、豊平川東岸の渡し守に命じられました。現在の豊平橋から120mほど下流の東岸に、通行屋の番人も兼ねて定住し、西岸の吉田茂八とともに、札幌市内最初の和人居住者の一人といわれています。豊平4条1丁目の豊平橋緑地には「札幌開祖志村鉄一碑」があり、地元の「志村鉄一碑顕彰保存会」が、鉄一の業績をたたえて、毎年8月16日に慰霊祭を営んでいます。

月寒公園 美園10条7丁目ほか

明治末期、歩兵第25連隊の小演習場として使用され「千城台」と名付けられていました。現在は緩やかな傾斜が残る自然林を含む広大な敷地に、野球場やテニスコートなどのスポーツ施設や、野鳥観察のできるポート池などが整備されており、子どもから大人まで楽しめます。

詳 月寒公園管理事務所 ✆818-3150
HP https://tsukisamu-park.jp/
交 地下鉄東豊線「美園駅」下車、坂下駐車場入口まで徒歩5分

リンゴ並木 環状通(豊平区役所~国道36号)

平岸のあたりは、昭和初期まで国内有数のリンゴ産地でした。平岸の発展の基礎となったリンゴ園をしのんで、昭和49年に豊平区役所から国道36号までの環状通の中央分離帯約1.1㎞にリンゴの木が植えられました。現在では、アカネ、つがる、レッドゴールドなど、約70本の木が毎年赤い実をつけ、全国的にも珍しい、実のなる並木として、道行く人の目を楽しませています。また、美園11条7丁目には地元有志によって昭和60年に「りんご並木の碑」が建立されています。

豊平公園(緑のセンター) 豊平5条13丁目ほか

林業試験場だった場所を利用した公園です。ドイツトウヒ、ミズナラといった大木に覆われたエリアでは、バードウォッチングが楽しめます。緑のセンターでは、一年中季節の花を楽しむことができ、洋ランや盆栽など様々な展示会が開催されているほか、園芸に関する相談も受けています。

詳 ✆811-6568
HP https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/
交 地下鉄東豊線「豊平公園駅」下車、1番出口から徒歩1分ほか

北海きたえーる(北海道立総合体育センター) 豊平5条11丁目

北海道最大級の体育施設として平成12年2月、豊平公園の隣接地にオープンしました。「きた」は北海道を、「えーる」は声援を送る意味を持つとともに、「きたえーる」は心身を鍛えることも表しており、施設を通じてたくさんの人々が交歓の場として活動することを愛称に込めています。最大収容人数約1万人のメインアリーナは、「レバンガ北海道」、「エスポラーダ北海道」の本拠地として使用されているほか、全国規模や国際規模のスポーツ、文化イベントも開催しています。

詳 ✆820-1703
HP http://www.kitayell.jp/
交 地下鉄東豊線「豊平公園駅」下車、地下通路直結徒歩4分ほか

どうぎんカーリングスタジアム 月寒東1条9丁目

平成24年9月にオープンした「どうぎんカーリングスタジアム」は、季節を問わず気軽にカーリングが楽しめる室内型のカーリング専用施設です。5つの競技シートと約200席の観覧席があり、バリアフリー構造も備えた施設となっています。用具の貸し出しや教室も実施しており、初心者でも「カーリング」の楽しさ、魅力が存分に体験できます。

詳 ✆853-4572
HP https://www.sapporo-sport.jp/curling
交 地下鉄東豊線「月寒中央駅」下車、3番出口から徒歩5分ほか

つきさっぷ郷土資料館(旧北部軍司令官官邸) 月寒東2条2丁目

月寒には明治29年から歩兵第25連隊が置かれていました。レンガ造りのこの建物は、昭和16年に北部軍司令官官邸として建てられました。戦後の一時期、北大の学生寮として使用されましたが、現在は「つきさっぷ郷土資料館」として月寒地区町内会連合会が運営しています。歩兵第25連隊や豊平町の歴史にかかわる資料などを館内に展示し、月寒の歴史を広く後世に伝えています。

詳 ✆854-6430(4月~11月の水・土曜日(10~16時)開館)
交 中央バス 61「月寒東2条2」下車、徒歩1分ほか

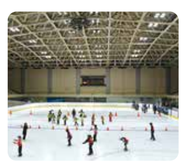
精進川

精進川は、明治中期から定山渓鉄道が開通するまで、木材の搬送に利用されていた大きな川でした。定山渓で切り出された丸太を豊平川に流し、中の島1条11丁目付近で精進川に送り、同1条1丁目付近で引き揚げ、馬車で札幌に運んだといいます。精進川と豊平川に囲まれた中州は、現在の中の島にあたります。その後、昭和7年に豊平川との合流部分がせき止められ、現在の姿になりました。

アンパン道路 平岸2条14丁目~月寒中央通7丁目

明治43年旧豊平町役場があった豊平村の一部が札幌区に編入、役場が月寒村(月寒西1条6丁目、現月寒児童会館)に移転してきたことを契機に、当時月寒に駐屯していた歩兵第25連隊と住民の協力でできた、平岸と月寒を結ぶ道路です。延長は、約2.6㎞で、工事の間、従事した人たちにアンパンが配られたことから、誰とはなしにこの名で呼ぶようになりました。

月寒体育館 月寒東1条8丁目



昭和46年に「月寒屋内スケート場」として完成し、翌年、札幌冬季オリンピックでアイスホッケー競技の会場となりました。オリンピック後は、通年型スケートリンクとして一般開放しており、誰でも気軽に利用できるよう、スケート靴の貸し出しも行っています。隣接する屋外競技場には、天然芝のラグビー場やテニスコート、弓道場があります。

月寒体育館 屋外競技場

詳 ✆851-1972
HP 【月寒体育館】https://www.sapporo-sport.jp/tsukisamu-gym
【屋外競技場】https://www.sapporo-sport.jp/tsukisamu-yagai
交 地下鉄東豊線「月寒中央駅」下車、3番出口から徒歩1分ほか

八紘学園(北海道農業専門学校) 月寒東2条14丁目ほか

昭和初期に農業経営者の育成を目的として創設された八紘学園。園内には、開校当初からの石造りのサイロ、資料館、洋館(現栗林記念館)などの建物が現存しています。

詳 ✆851-8236(代表)
HP https://hakkougakuen.ac.jp/
交 地下鉄東豊線「福住駅」下車、4番出口から学校まで徒歩5~10分

西岡公園(西岡水源池) 西岡487番地ほか

月寒川が注ぐ水源池は明治期に飲料用として造られたものですが、昭和46年にその役目を終えました。現在は水辺の公園としてはもちろんのこと、バードウオッチングや自然観察の場としても広く親しまれています。湿原には、ミズバショウなど湿生植物やトンボ、ヘイケボタルなどの姿も見られます。野鳥やトンボの種類も多く、道内でも有数の生息地となっています。

詳 西岡公園管理事務所 ✆582-0050
HP https://www.sapporo-park.or.jp/nishioka/
交 中央バス 湿73 湿74「西岡水源池」下車、徒歩1分

札幌ドーム 羊ケ丘1番地

各種スポーツ・文化イベントで使用可能な、羊ケ丘にある全天候型多目的施設。サッカー場から野球場に転換できる「ホヴァリングシステム」を世界で初めて導入。開業以来「北海道コンサドーレ札幌」のホームスタジアムとして使用されています。スポーツイベント開催時の収容人数は約4万2千人、サッカーやラグビーなど数多くの世界大会も開催され、変わらぬ感動を届け続けています。

詳 ✆850-1000
HP https://www.sapporo-dome.co.jp/
交 地下鉄東豊線「福住駅」下車、3番出口から徒歩10分ほか

さっぽろ羊ケ丘展望台 羊ケ丘1番地

羊ケ丘には、日本のめん羊事業に大きく貢献してきた月寒種羊場がありました。羊ケ丘の地名の由来になったとも言われており、今も牧歌的な風景が残っています。また、「クラーク博士像」をはじめ、札幌ゆかりのモニュメントが設置されているさっぽろ羊ケ丘展望台は、広大な牧草地に放牧される羊の群れや四季折々の景観を楽しめる観光名所として親しまれています。

詳 さっぽろ羊ケ丘展望台管理事務所 ✆851-3080
HP https://www.hitsujigaoka.jp/
交 中央バス 89 福84「羊ケ丘展望台」下車(89は4月1日~11月30日のみ運行)

札幌市博物館活動センター 平岸5条15丁目

世界最古の大型海牛化石「サッポロカイギュウ」の復元骨格標本や札幌の植物、昆虫などの標本を展示するほか、札幌の1億3000万年前からの地史をまとめたプロジェクションマッピングなど、札幌の自然やその成り立ちについて学べます。自然に関する書籍や図鑑、絵本を読むことができる図書コーナーもあります。

詳 ✆374-5002
HP https://www.city.sapporo.jp/museum/
交 地下鉄南北線「南平岸駅」下車、徒歩14分。「澄川駅」下車、徒歩10分

天神山緑地 平岸1条18丁目ほか

標高85m、頂上付近にある展望テラスからは、藻岩山や札幌市街を眺望することができ、園内には、日本庭園、ウメ、平岸開基120年を記念して植えられたヤエザクラ、北海道最古とも言われるフジ(通称:天神藤)などがあります。毎年春ごろにはウメやサクラ、フジの花が咲き誇り、多くの方がお花見に公園を訪れます。遊具広場には、幼児向けの小型プランコや砂場、小学生向けの複合遊具などがあります。また、平岸一帯はリンゴの栽培で栄えたことから、リンゴの歴史を後世に伝えるため、昭和41年に石川啄木の歌を刻んだ「札幌平岸林檎園記念歌碑」が建立されました。

詳 豊平区土木センター ✆851-1681
交 地下鉄南北線「南平岸駅」または「澄川駅」下車、徒歩15分

さっぽろ天神山アートスタジオ 平岸2条17丁目

旧札幌天神山国際ハウスを再整備し、アーティストの創作活動を支援する文化芸術施設として平成26年にオープンしました。国内外のアーティストや研究者が滞在しながら制作を行うための滞在スタジオ、会議や地域活動などで市民が気軽に利用できる交流スタジオ(貸室)、天神山緑地の無料休憩所という3つの機能を併せ持つユニークな施設で、アーティストと市民が交流する多彩なイベントを開催しています。

詳 ✆820-2140
HP https://tenjinyamastudio.jp/
交 地下鉄南北線「南平岸駅」または「澄川駅」下車、徒歩15分ほか

豊平区 季節の花の見どころ

土木研究所寒地土木研究所
千島桜

所 平岸1条3丁目 詳 ✆841-1111
時 4月下旬~5月上旬(予定)
HP https://www.ceri.go.jp/
交 地下鉄南北線「中の島駅」下車、1番出口から徒歩3分ほか

天神山緑地
天神藤

所 平岸1条18丁目
詳 豊平区土木センター ✆851-1681
期 5月下旬~6月上旬(予定)
交 地下鉄南北線「南平岸駅」または「澄川駅」下車、徒歩15分

区内各地区の紹介

※地区の区分けは、町内会連合会別(まちづくりセンター所管別)

お住まいの地域の町内会・自治会はこちらから確認できます
HP https://www3.city.sapporo.jp/shimin/shinko/

豊平

安政4(1857)年ごろ、幕府の命により豊平川の渡し守となった**志村鉄一**がその後定住したのが、同地区とされる。

豊平橋を境に都市部と接しており、地下鉄東豊線豊平公園駅を降りると**道立総合体育センター「北海きたえーる」**や**豊平公園**などの公共施設が、学園前駅を降りると**北海学園大学**などの文教施設があり、利便性に富んだ地区となっている。

主な行事:鉄一が里とよひらふれあいまつり、とよひらおもしろひろば

美園

明治時代以降、稲作・花き生産地として栄え、戦後の宅地化により閑静な住宅街・商業地として発展した。望月寒川を挟んで月寒に接しており、地下鉄東豊線美園駅付近には、緑あふれる**月寒公園**が広がっている。

また、昭和49年に環状通に整備された**リンゴ並木**は、住民などにより育成され、今や区のシンボルとなっている。

主な行事:みその子ども夏まつり・みその夏まつり、美園りんごまつり

月寒

明治4年に岩手県などの人々が移住、明治29年には歩兵第25連隊が配備される。明治43年の豊平町役場の移転により、豊平町の中心として発展。現在も商店街が栄えており、**人口は区内第1位**。

地下鉄東豊線月寒中央駅付近には、**月寒体育館**や**どうぎんカーリングスタジアム**、**ちあふる・とよひら**などの公共施設に加え、地区の歴史を伝える**つきさっぷ郷土資料館**がある。

主な行事:フェスタつきさっぷ、親子ふれあいコンサート、ホワイトジャンボフェスタ

平岸

明治4年に岩手県などの人々が移住して以来、リンゴの一大産地となった。戦後は昭和36年に完成した道内初の公団住宅「木の花団地」、土地区画整理事業などにより宅地化が進んだ。

かつて用水堀だった平岸通に沿って商店街が軒を連ねている。**平岸天神太鼓・平岸天神ソーラン踊り**の郷土芸能が有名で、**YOSAKOIソーラン祭り**の際には、地域と商店街が連携した会場運営により、地下鉄南北線平岸駅周辺がにぎわう。

主な行事:平岸郷土芸能祭、雪中運動会

魅力発見 ほ~!へ~!カルタ

区内各地域の見どころや歴史、区の特色など、豊平区の魅力をぎゅっと集めた「魅力発見ほ~!へ~!カルタ」。区役所地域振興課と区内まちづくりセンターで無料貸出を行っていますので、ぜひご活用ください。

中の島

南北に細長い地域で、中央区・南区と接する豊平川沿いに、幌平橋、南十九条大橋、南二十二条大橋、ミュンヘン大橋が架かる。

かつては農業に適さない中州だったが、幌平橋や豊平川の堤防の完成を契機に発展した。

地区には精進川が流れており、地下鉄南北線が走る。中の島駅周辺には、**老人福祉センター**がある。

主な行事:ヤマメの稚魚放流、アイスキャンドル大作戦

西岡

明治時代以降、火山灰で覆われた土地を改良し、ホップやジャガイモなどの栽培で栄えた。昭和47年の札幌オリンピック冬季大会を契機に住宅化が進んだ。

月寒の西に位置する丘陵地で**面積は区内第1位**。地区を貫く水源池通と羊ケ丘通沿いに商店が並び、戸建て住宅街が広がる。

また、地区の中心には**札幌大学**、南部にはミズバショウやホタルなどが見られる自然豊かな**西岡公園**が広がっている。

主な行事:にしおか夏まつり、西岡まちの灯り

福住

明治時代以降、農業を中心に発展。当時は六軒村と呼ばれていた。昭和30年代以降は農地買収などで宅地化が進んだが、農業用として作られた赤レンガ倉庫は現在も点在している。

南北に長い地域で、平成6年の地下鉄東豊線延長により、福住駅近くにはマンションが増加した。

地区にはうらうらちない川が流れており、川が流れる**福住小川公園**は、桜の名所として親しまれている。

主な行事:福住連合まつり、福住地区アイスキャンドル

東月寒

明治時代以降、農村地帯として発展し、昭和30年代から宅地化が進む。明治39年に設置された種牛牧場は、現在の北海道農業研究センターとなり、観光名所の一つである**さっぽろ羊ケ丘展望台**からは、広大な牧草地に放牧されている羊の群れや札幌ドームを一望できる。

豊平区の東端に位置する丘陵地帯で、**札幌ドーム**や**豊平区体育館**などの公共施設に加え、**八紘学園**や**吉田川公園**などの緑に恵まれている。

主な行事:東月寒地区ふれあい夏まつり、雪中運動会

南平岸

明治時代以降、平岸通を流れていた用水堀を中心に、果樹園や水田で村が形成される。明治8年にリンゴの苗木が開拓使から配布されたのを契機に、リンゴの一大産地となった。戦後は宅地化が進み、リンゴ農家は姿を消す。

地下鉄南北線南平岸駅周辺には、**博物館活動センター**のほか、古代遺跡が発掘された**天神山**や**平岸高台公園**などがあり、起伏に富んだ地形である。

主な行事:なんぴら100円商店街&夏まつり、天神山文化祭

区役所・市役所ご利用案内

●豊平区役所・豊平保健センター 平岸6条10丁目 ✆822-2400(代表)
●札幌市役所(本庁舎) 中央区北1条西2丁目 ✆211-2111(代表)

●札幌市コールセンター ✆222-4894 FAX 221-4894 Eメール info4894@city.sapporo.jp
市役所のどこに聞いたらよいか分からないときなどにご利用ください。
札幌市の制度や手続き、市内の施設、交通機関などをご案内しています。(年中無休・8時~21時)

戸籍・住民登録・諸証明 区役所1階戸籍住民課

■結婚、出産、死亡、離婚など戸籍の届出	戸籍係 ✆822-2436
■転入・転出などの届出、印鑑登録 ■自動車臨時運行許可の申請	
■住民票、印鑑証明、戸籍証明、身分証明などの各種証明書(市内の区役所、まちセン、出張所、大通証明サービスコーナーでも取得できます)	住民記録係 ✆822-2441
■個人番号(マイナンバー)カードの受け取り	

高齢の方 区役所3階保健福祉課

■介護保険認定、在宅福祉サービスの申請・相談 ■認知症などについての相談	相談担当 ✆822-2462
■敬老優待乗車証	給付事務係 ✆822-2454
■老人クラブへの加入、戦没者遺族等への援護	地域福祉係 ✆822-2451

障がいのある方 区役所3階保健福祉課

■障害者手帳、障害者総合支援制度、在宅福祉サービスの申請・相談 ■特別障害者手当、障害児福祉手当の申請・相談	相談担当 ✆822-2462
■特別児童扶養手当、重度心身障がい者医療費助成の申請 ■心身障害者扶養共済制度の申請	福祉助成係 ✆822-2453

ひとり親家庭 区役所3階

■児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成の申請	保健福祉課福祉助成係 ✆822-2453
■母子・婦人相談	健康・子ども課子ども家庭福祉係 ✆822-2473

子ども 区役所3階

■児童手当、子ども医療費助成の申請、災害遺児手当	保健福祉課福祉助成係 ✆822-2453
■保育所への入所	健康・子ども課子ども家庭福祉係 ✆822-2473
■子育て相談、子育て情報、地域子育て支援事業	健康・子ども課子育て支援担当係 ✆822-2474
■家庭児童相談	健康・子ども課家庭児童相談室 ✆822-2423
■母子健康手帳の交付	健康・子ども課健やか推進係 ✆822-2472

国民健康保険・国民年金 区役所1階保険年金課

■国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療	保険係 ✆822-2506(加入、脱退、住所変更) 収納一・二係 ✆822-2510(保険料納付相談・口座振替)
■高額療養費・補装具・限度額適用認定証などの申請(国保・後期高齢)	給付係 ✆822-2505
■国民年金(加入、変更、請求、相談など)	年金係 ✆822-2525

健康・衛生 区役所3階健康・子ども課

■乳幼児健診 ■特定保健指導、胃・大腸・肺がん検診、妊婦健診受診票の交付 ■マタニティ教室、女性の健康支援相談、離乳期講習会	健やか推進係 ✆822-2472
■予防接種、BCG接種、エキノコックス症検査 ■指定難病(特定疾患)、肝炎治療の医療費助成申請	保健予防係 ✆822-2469
■若者の性の相談 ■エイズ相談・検査	相談専用電話 ✆816-8120
■食品衛生・環境衛生(ネズミ、昆虫など)に関する相談 ■営業の申請(飲食店など)・食品販売の届出 ■医師、看護師、調理師などの免許申請 ■犬の登録(転入・変更届などを含む)	生活衛生係 ✆822-2478

生活にお困りの方 区役所2階

■生活保護相談	相談担当 ✆822-2489

道路・公園・除雪 豊平区土木センター(西岡3-1)

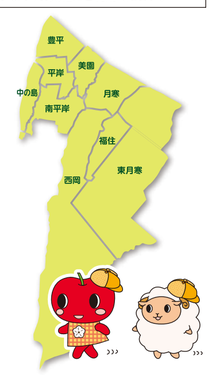
■道路・公園の維持や整備、公園の利用、市道の除雪 ■道路の占用、市設街路灯の維持管理	維持管理課 ✆851-1681

市税 南部市税事務所(平岸5-8)

■市税証明 ※一部の市税証明は区役所でも交付しています。また市税証明の郵送請求は中央市税事務所(211-3912)が受け付けています。	納税課 ✆824-3912
■市税の納付、納税相談	納税課 ✆824-3913
■個人の市・道民税の課税	市民税課 ✆824-3914
■固定資産税(土地・家屋分)の課税、台帳の閲覧	固定資産税課 ✆824-3917(土地) ✆824-3918(家屋)

区内まちづくりセンターのご案内 ★地区会館併設

まちづくりセンターは、皆さんと市政を結ぶ身近な窓口です。区内には、9カ所のまちづくりセンターがあり、地域の皆さんの利便を図るため、住民票、戸籍証明、印鑑証明など各種証明の取り次ぎサービスを行っています。お気軽にご利用ください。



豊平まちづくりセンター★

豊平6条7丁目
✆811-9435

美園まちづくりセンター★

美園6条5丁目
✆811-4119

月寒まちづくりセンター★

*月寒公民館併設

月寒中央通7丁目
✆852-9288

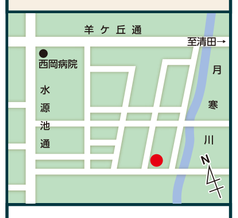
平岸まちづくりセンター★

平岸2条7丁目
✆811-9545

中の島まちづくりセンター★

中の島1条4丁目
✆821-5841

西岡まちづくりセンター★



西岡4条5丁目
✆854-0357

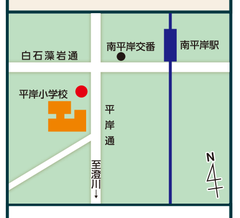
福住まちづくりセンター★

福住1条4丁目
✆855-6615

東月寒まちづくりセンター★

月寒東3条17丁目
✆853-9191

南平岸まちづくりセンター★



平岸2条14丁目
✆814-1440